

第3章

都市交通体系の基本方針

- 1 基本理念
- 2 基本方針
- 3 都市交通体系の将来像

第3章 都市交通体系の基本方針

1 基本理念

宮古島の総合交通体系は、都市づくりの将来像の達成を後押しするよう、戦略的に取り組むことが重要で、「宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）」で掲げている都市づくりの将来像「みんなで創る ぼん我が美かぎ島・宮古 みやこ ～夢と希望に満ちた 結いの島～」の実現を支援し、都市計画マスタープランに掲げる共生・定住・交流・発展の4つの理念に示した「持続可能な島づくり」の実現に向け、住民・観光客を問わず、誰もが気軽に・快適に移動でき、環境にも優しい交通体系の構築を目指します。

宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）

【都市づくりの将来像】

みんなで創る ぼん我が美かぎ島・宮古 みやこ ～夢と希望に満ちた 結いの島～

【都市づくりの理念】

- ① “共生” – 人と自然が共生した持続可能な美しい島づくり–
- ② “定住” – 新たな拠点形成による一体的で持続可能な島づくり–
- ③ “交流” – 活性化につながる地域特性をいかした持続可能な島づくり–
- ④ “発展” – 宮古の魅力をいかした活力ある持続可能な島づくり–

【基本理念】

住民にも 観光客にも 環境にも やさしい交通体系の構築
～「持続可能な島づくり」の実現に向けて～

●住民にやさしい交通体系

自立的な生活を可能にする、すべての住民がいつでも安全に快適に移動できる、多様な主体による多様な移動手段の連携と整備を目指します。

●観光客にやさしい交通体系

様々な観光の形が快適に楽しめ、島の生活と共存し安全に配慮した、観光客にも分かりやすく利用しやすい移動環境の創出を目指します。

●環境にやさしい交通体系

道路や移動手段の効率的・効果的な交通ネットワークの形成を目指すとともに、過度に車に頼らない環境負荷の少ない移動の促進を目指します。

2 基本方針

都市交通体系の基本方針は、上位計画である「宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）」での都市交通体系に関する方針を踏まえ、まちづくりとの整合性や、広域性や複数の交通モード連携に留意し、検討します。

【基本理念】

住民にも 観光客にも 環境にも やさしい交通体系の構築
～「持続可能な島づくり」の実現に向けて～



基本方針①：

市民や観光客の移動を支える効果的な道路交通ネットワークの実現

- 人やモノの交流・連携を促進し、都市の活力を生み出していくため、市街地と地域間の連携強化や地域活性化を促進する道路交通ネットワークを構築します。
- 宮古空港周辺の商業施設、大規模リゾート開発などのプロジェクトや国際クルーズ拠点の形成による観光需要の増加に対応し、交通渋滞を効果的に解消するため、効果的な幹線道路ネットワークの形成を目指します。
- 道路の持つネットワーク機能を最大限に発揮できるよう、都市計画道路の未整備区間やボトルネック対策の整備を計画的に進めます。

基本方針②：

交流と賑わい創出を支え、誰もが使いやすい公共交通ネットワークの実現

- 日常生活に欠かせない路線バスの機能強化や、地域特性に応じた多様な地域交通手段の導入検討により、利便性と効率性が両立し、拠点間を連絡する公共交通ネットワークの強化を図ります。
- 各公共交通機関同士を有機的に接続する交通結節点での乗継環境（ダイヤ、待合環境、料金など）の整備や、人にやさしい移動環境の創出を図ります。
- 技術革新の動向を見据えつつ、様々な企業・団体などとの連携による地域ぐるみの利用促進の展開などにより、交流と賑わいの創出を支える持続可能な公共交通ネットワークの実現を目指します。

基本方針③：**中心市街地及び周辺の回遊性と賑わい向上を支援する交通環境の実現**

- 宮古空港～中心市街地～平良港間は、市民や観光客などが集中する地域のため、公共交通ネットワークの構築や幹線道路の整備、安全・安心な歩行者・自転車環境の整備などにより、活力・魅力を支え、誰もが安全・安心に回遊しやすい交通環境の整備を目指します。
- 空・海の玄関口である空港や港湾の交通結節点としての機能強化を目指します。

基本方針④：**環境負荷低減（エコアイランド）や交通事故が起きにくい交通環境の実現**

- 環境への負荷を軽減するため、電気自動車（EV）や電動バイクなどの導入・普及を促進します。また、過度な自動車利用の生活を見直し、公共交通や自転車等の環境負荷の小さい移動手段の利用促進に向けて、交通施設の整備や意識啓発活動を推進します。
- 地形が平坦な特徴を生かし、高齢者や障がい者、子どもなど誰もが安全に移動できるよう、市街地内においては利用者の視点に立った安全で快適な歩行者・自転車ネットワークの充実や、交通マナーの啓発による交通安全に関する意識の醸成により、交通事故が起きにくい環境づくりの実現を目指します。
- 観光客のレンタカー関連の交通事故も多くなっており、交通事故の発生を未然に防ぐため、本市の地域特性を踏まえた観光客等への交通安全の意識醸成のほか、道路の適切な維持管理や交通安全施設の整備・点検により、交通事故が起きにくい安全な交通環境の実現を目指します。

3 都市交通体系の将来像

本市が目指す将来の都市交通体系を「幹線道路ネットワーク」と「公共交通ネットワーク」のあり方により、明らかにします。

(1) 幹線道路ネットワークのあり方

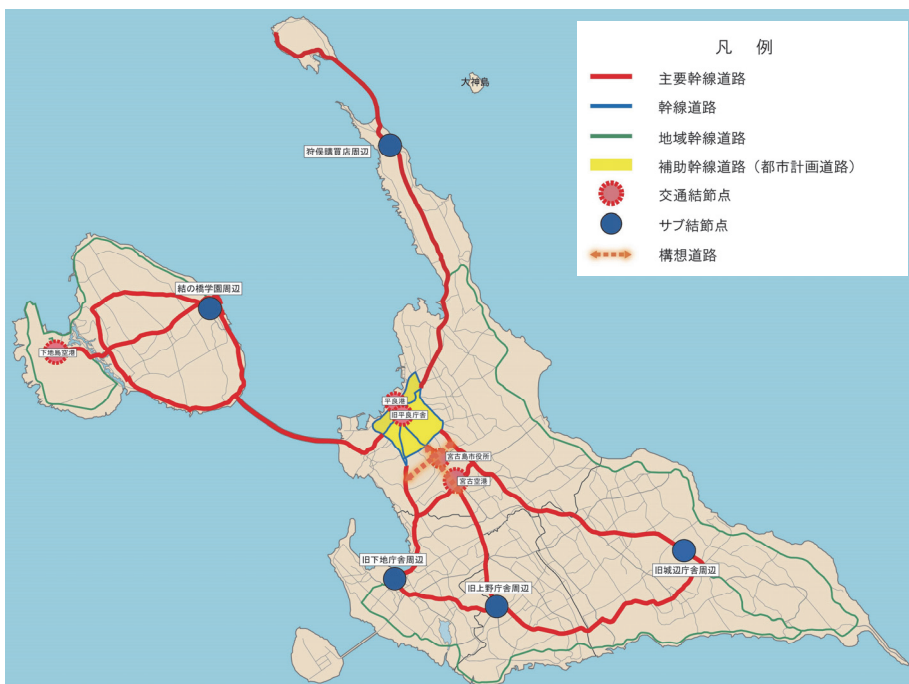
宮古島市における幹線道路ネットワークは都市計画道路の整備状況や「宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）」、「市役所周辺まちづくり基本構想」での将来道路網図（位置付け）を踏まえ、道路の段階構成を考慮しつつ、次の考え方により取り組むことを目指します。

- ①平良市街地と各拠点・地域を連絡する体系的・階層的な道路ネットワークの形成を目指す
- ②各道路の機能を勘案し、4段階の階層的な道路ネットワークの構築を目指す
- ③環状道路による交通経路の分散化を目指す
- ④平良地域及び市役所周辺地区の道路ネットワークの強化を目指す
 ※平良港～市役所間、平良市街地～城辺・下地・上野間、市役所周辺における東西方向のネットワーク強化の検討
- ⑤バス等の公共交通機関との連携を支援し、人中心の道路づくりにつながるネットワークの構築を目指す

■幹線道路網の機能の位置付け

区分	機能・役割
主要幹線道路 (地域連携道路)	・環状道路に囲まれる平良市街地と下地、上野、城辺、伊良部といった地域間を連絡する幹線道路
幹線道路 (市街地骨格道路)	・都市軸を形成する幹線道路（中央縦線、平良与那覇線、マクラム通り線）や、市街地を取り囲む幹線道路（平良市街地環状線）
地域幹線道路 (観光ルート)	・各地域や海岸線の観光拠点を結ぶ道路
補助幹線道路	・市街地環状道路内の幹線道路を補完する道路（都市計画道路）

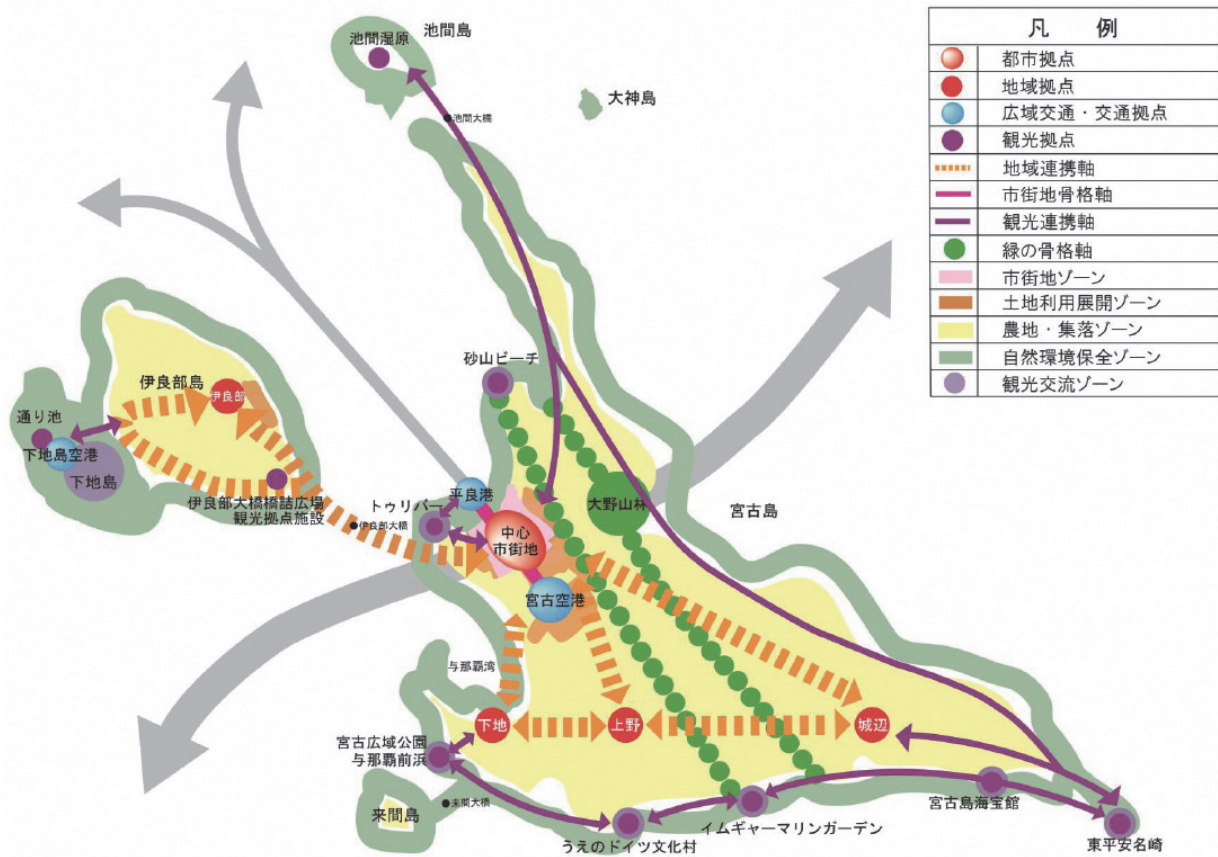
■幹線道路網のイメージ図



(2) 公共交通ネットワークのあり方

1) 基本的な考え方

宮古島の公共交通ネットワークは、「宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）」で掲げられた将来都市構造図と整合を図りながら、かつ、都市構造の考え方の一つである「交流：陸・海・空のネットワーク機能の強化・連携を促進」を実現できるよう、次の観点から利便性向上と効率的な運行を目指した公共交通網の構築を目指します。



出典：宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）

【公共交通ネットワークのコンセプト】

- 広域アクセスや路線バス、地域内交通手段との組合せによる拠点間ネットワークの充実
- 中心市街地の回遊性向上を支援する機能強化

2) 各公共交通機関の役割

宮古島の面積は約 204 km²と大きく、市内の骨格を形成する路線バスは路線により長大な路線も存在するなど、全ての地域を運行する場合、利便性や効率性などの低下が懸念されます。

そのため、各公共交通機関が提供するサービスの特徴を最大限に発揮し、適切な役割分担のもと緊密に連携しながら、市民や観光客の重要な足として機能している空港（宮古空港、下地島空港）や港湾（平良港）といった広域アクセスとの連携に配慮しつつ、利便性向上と効率的な運行を目指した公共交通網の構築を目指します。

■各公共交通機関の機能分担

分類		交通機関	位置付け・役割
広域アクセス 公共交通		飛行機、クルーズ船	・都市間（海外含む）を連絡し、広域的な移動を担う交通
幹線	幹線公共交通	路線バス	・宮古島市役所と市内各地域を結ぶ移動を担う交通
支線	地域内公共交通	新たな地域交通手段	・空港、観光施設や宿泊施設を連絡し、主に観光客の移動を担う交通 ・主に地域内の移動と交通不便地域の解消を担う交通
	サブ公共交通	タクシー	・ドア・ツー・ドアの少量個別輸送を担う移動手段で、市民や観光客といった個別のニーズに機動的で柔軟に対応可能な交通
	海上公共交通	航路	・宮古島と周辺の離島（多良間島、大神島）を連絡し、市民の移動を担う交通
特定の利用者などの移動を担う交通		スクールバス（結の橋学園、城東中学校）、ホテル等送迎バス、介護タクシー	・通学やホテル、自動車学校など特定の利用者などの移動を担う交通

3) 交通結節点のあり方

効率的で効果的な地域公共交通網の構築を目指す上で、交通結節点は、各公共交通機関同士の接続性を高める重要な役割を担うため、情報提供、乗継負担の軽減などを考慮する必要があります。

交通結節点は、公共交通機関同士の乗継が可能な場所で、「宮古島市都市計画マスタープラン（令和3年4月）」の将来都市構造図で「都市拠点」や「広域交通・交流拠点」に位置付けられている「中心市街地（平良市街地）」、「市役所周辺地区」、「宮古空港」、「下地島空港」、「平良港」とします。

また、これら交通結節点を補完する役割として「地域拠点」に位置付けられている「下地」、「上野」、「城辺」、「伊良部」と市北部の拠点として「池間・狩俣」をサブ結節点とします。

■交通結節点・サブ結節点の機能・役割

分類	機能・役割	場所
交通結節点	・都市間（海外含む）を連絡し、広域的な移動を担う交通（広域アクセス公共交通）から市内各地域を結ぶ交通（幹線公共交通）への乗り継ぐポイント	宮古空港、下地島空港、平良港、平良市街地、市役所周辺地区
サブ結節点	・市内各地域を結ぶ交通（幹線公共交通）から主に地域内の移動のための交通（地域内公共交通）等により乗り継ぐポイント	下地（旧下地庁舎周辺）、上野（旧上野庁舎周辺）、城辺（旧城辺庁舎周辺）、伊良部（結の橋学園周辺）、池間・狩俣（狩俣購買店周辺）

■交通結節点



■サブ結節点



■交通結節点の整備イメージ

- ・複数の交通への乗換が可能な交通結節点（駅）



出典：第二期那覇市総合交通戦略（おもろまち駅）

- ・バスの乗り継ぎ拠点（バスターミナル）となっている市役所に設置された待合環境（共有スペースにカフェ・レストランを併設）



出典：南城市公共交通日より

■公共交通網のイメージ図

